

# 「ザ・紙太鼓！ 伝統と心を伝えよう」

思考力・判断力・表現力，主体性

1 日 時 11月19日（金）5校時

2 学 級 第6学年3組（男子17名，女子17名 計34名）

3 単元設定の理由

## （1）単元観

本単元は、大竹地域の食・伝統文化・行事を調べる活動を通して、伝統を守り、次の世代へ語り継ぐとする地域の人々の思いや願いに気付く力を身に付けさせることを目標として設定した。児童がくらしている大竹地域には、「おおたけ手すき和紙」や、その和紙を使った「紙太鼓」、「鯉のぼり」、「ひな流し」などの伝統が今も残されている。「おおたけ手すき和紙」は、江戸時代初期に製法が伝わったとされ、四百年以上の歴史が受け継がれてきた地域であることが分かる。紙太鼓演奏、おおたけ手すき和紙づくり体験などの活動を通して、おおたけ手すき和紙の魅力や伝統を受け継いできた人々の思いに気付かせていく。さらに自分たちにできることを考える活動につなげていくことで、大竹の伝統を受け継ぐ地域の一員として自己の生き方を考えることにつなげていくことを目指し、本単元のテーマを「大竹の伝統と心を伝えよう」と設定した。

## （2）児童観

本学年の児童は、3年時に「ぼくたち、わたしたちの大竹大発見」というテーマで、大竹の食や伝統文化、地域の行事について学習をしてきた。「食」では、郷土料理である「大平」をつくり、地域でお世話になった方にふるまった。「伝統文化」では、大竹和紙や大竹刃物について地域のゲストティーチャーの方からお話を聞き、伝統文化への関心を深めた。「地域の行事」では、地元の神社の祭りについて、実際に神社に行って聞き取り学習を行った。その時の学習を踏まえて、本学年の1学期では、大竹の魅力ある伝統・文化について自分が関心をもったテーマごとにインターネットなどを使って調べ学習に取り組み、分かったことをポスターにまとめた。これらの学習を通して、自分たちの住む地域の良さを再認識することができた。学習後に行った伝統文化についての児童アンケートでは、次のような結果が得られた。

	はい	いいえ
1学期の学習を通して大竹の伝統に対する興味・関心が高まった。	100%	0%
大竹の魅力について述べられるものが3つ以上ある。	50%	50%
家族で大竹の魅力について話をすることがある。	53%	47%
おおたけ手すき和紙の実物を見たことがある。	94%	6%
おおたけ手すき和紙を実際に作ったことがある。	12%	88%

（6年3組 34名中）

この結果から、1学期の学習を通して、大竹の伝統に関する興味・関心が高まっていることが分かった。その中でも大竹の伝統として最も多く挙げたのは、おおたけ手すき和紙であった。しかし、その一方で、大竹の魅力について3つ以上述べられる児童は半数しかいなかった。さらに、実際におおたけ手すき和紙を作ったことがある児童は12%（4名）しかいなかった。日常生活の中で、伝統に関する知識を高め、伝統を受け継いできた人やものと触れ合う経験は乏しいと言える。

### (3) 指導観

単元始めの課題設定の場面では、大竹市の未来について考えさせる。「もっと詳しく知りたい。」と児童が思う大竹の魅力について情報を収集し、ポスターにまとめさせる。そして、「大竹の良さをもっと広め、守っていききたい。」という児童の願いを起点にして学習を進めていく。

単元後半に再び課題設定の場面を設け、魅力ある伝統「おおたけ手すき和紙」に絞って学習を進めていく。「伝統を守っていききたい。」という児童の思いとは裏腹に、おおたけ手すき和紙の伝統が廃れているという現実を知ること、自分たちにできることはないか考えさせ、課題意識を高めさせる。また、青少年育成市民会議やおおたけ手すき和紙保存会、紙太鼓演奏の作曲者の方々をゲストティーチャーとして招き、おおたけ手すき和紙に関わる体験を通して、伝統を守る人々の思いや願い、魅力に気付かせていく。整理・分析の場面では、おおたけ手すき和紙の伝統を受け継ぐために、自分たちにできること（学習発表会での紙太鼓演奏、他県の人々に大竹の魅力を広めるためのポスター制作等）を考えさせ、まとめ・表現につなげていく。

評価に関しては、活動後のリフレクションシートで行う。伝統を受け継いできた人々との関わりを通して、人々の思いや願いに気づき、それらをつないでいくために自分たちにできることを考え、自己の生き方を見つめ直すことができる児童の姿を見取っていく。

## 4 単元の目標

- 伝統を受け継いできた人々の思いや願いに気づき、自分たちにできることを考えることができる。

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 大竹の伝統のよさとそれに携わる人々の願いを理解している。 ② タブレットを効果的に活用し、適切に情報を集め、まとめている。 ③ 「大竹の伝統を守りたい」という意識の高まりは、地域の人・もの・ことと関わりながら探究的に学習してきたことの結果であると気付いている。	① 大竹の伝統について、現状を知り、課題を設定し、解決に向けて自分にできることを考えている。 ② 目的に応じて、必要な情報を収集・整理している。 ③ 集めた情報を、視点に沿って取捨選択したり、比較・関係付けたりしている。 ④ 大竹の伝統について、表現方法の特徴や目的に合わせて分かりやすくまとめている。	① 自分自身で設定した課題の価値を理解し、粘り強く取り組んでいる。 ② 自分と異なる意見や考えを生かしながら、協働的に探究活動に取り組もうとしている。 ③ 自分と大竹の人々等とのつながりに気づき、大竹のためにできることを考え行動している。

6 単元の全体計画（全 45 時間）

次	学習内容	評価			
		知・技	思判表	主体的	評価規準 (評価方法)
1	1 <課題の設定①> ○ 自分たちが思う大竹市の伝統や魅力について考える。(2)		①		○ 大竹市の伝統や魅力について、現状と課題を捉えている。 (発言・ワークシート)
2	2 <情報の収集①> ○ 大竹市の魅力を調べる。(8)	②			○ 自分で設定したテーマについて、インターネットを活用し、情報を集めている。 (発言・ワークシート)
3	3 <整理・分析①> ○ 集めた情報を取捨選択し、必要な情報を整理する。(3)		②		○ 集めた情報から、必要な情報を精選している。 (ワークシート)
4	4 <まとめ・表現①> ○ 整理した情報をもとにポスターにまとめる。(8)		④		○ 大竹の魅力が伝わるポスターを作成している。 (ポスター)
5	5 <振り返り①→課題の設定②> ○ 作成したポスターについて振り返り、さらに自分たちにできることを考える。(1)			③	○ 作成したポスターを振り返り、自分と地域とのつながりについて気付き考えている。 (リフレクションシート)
6	6 <情報の収集②> ○ ゲストティーチャー（おおたけ手すき和紙保存会の方）のお話を聞き、おおたけ手すき和紙の歴史や、伝統を守る人々の思いを知る。(3)	①			○ おおたけ手すき和紙の伝統やそれを守る人々の思いを理解している。 (ワークシート・リフレクションシート)
7	7 <整理・分析②> ○ 自分たちで紙太鼓の制作をする。(4) ○ 紙太鼓演奏の練習をする。(8)			①	○ 自分と地域の人々等とのつながりに気付き、大竹の伝統を受け継いでいく思いをもって、粘りく取り組んでいる。 (行動・リフレクションシート)
8	8 <まとめ・表現②> ○ 紙太鼓演奏の発表をする。(1)			③	○ 大竹の伝統を受け継ぎ、地域の人々に発信している。 (行動・リフレクションシート)
9	9 <振り返り②> ○ 今までの学習（調べ学習、学習発表会、紙すき体験など）を通して感じた和紙の魅力や課題、気付いたことを振り返る。(1)		①		○ 大竹の伝統と文化について探究的に学んだこと（伝統をつなぐ人々の思い）を振り返り、おおたけ手すき和紙の魅力と課題に気付くことができる。 (発言・リフレクションシート)

10	1 0 <課題の設定③→整理分析③> ○ おおたけ手すき和紙の魅力を伝えるために必要なポスターの内容を精選する。(本時)(1)		③	○ おおたけ手すき和紙の魅力を伝えるために必要な内容について考え精選している。(発言・ワークシート・リフレクションシート)
11	1 1 <まとめ・表現③> ○ 班で考えた案を整理しポスターにまとめる。(4)		②	○ 自分と異なる意見や考えを生かしながら、協働的にポスターづくりに取り組んでいる。(発言・ワークシート・リフレクションシート)
12	1 2 <振り返り③> ○ 自分たちの活動が大竹の伝統を守るために役に立てたか振り返る。(1)		③	○ 自分たちがやってきたことを振り返り、さらにできることや取り組んでみたいことを意欲的に考えている。 (リフレクションシート)

## 7 単元のルーブリック

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
①	A	おおたけ手すき和紙の歴史や伝統を守る人々の思いを理解し、自分たちに求められている願いが分かっている。	①	A	大竹の伝統についての現状と課題を捉え、伝統を守るためにできることに見通しをもって取り組もうとしている。 学習を振り返りおおたけ手すき和紙の魅力と課題に気づき、自分にできることを考えている。	①	A	大竹の伝統を受け継いでいく強い思いをもって、意欲的に粘り強く練習等に取り組んでいる。
	B	おおたけ手すき和紙の歴史や伝統を守る人々の思いを理解している。		B	大竹の伝統についての現状と課題を捉え、取り組もうとしている。 学習を振り返りおおたけ手すき和紙の魅力と課題に気付いている。		B	大竹の伝統を受け継いでいく思いをもって、粘り強く練習等に取り組んでいる。
②	A	自分で設定した大竹の魅力について、目的に応じた複数の方法(家庭や地域で聞くなど)で調べ、必要な情報を集めている。	②	A	大竹の魅力にふさわしいという視点と他の市町村の人が興味をもつという両方の視点から情報を収集している。	②	A	自分と異なる意見や考えを生かしながら、おおたけ手すき和紙の魅力が伝わるポスターづくりに相手意識をもって協働的に取り組んでいる。

	B	自分で設定した大竹の魅力について、目的に応じた方法で調べ、必要な情報を集めている。		B	大竹の魅力にふさわしいという視点から情報を収集している。		B	自分と異なる意見や考えを生かしながら、おおたけ手すき和紙の魅力が伝わるポスターづくりに協働的に取り組んでいる。
③	A	「大竹の伝統を大切にしたい」という気持ちが、なぜ高まったのか、その理由を考え、今回の学習をどのようにこれから生かしたいのか考えをもっている。	③	A	<b>おおたけ手すき和紙の魅力</b> を伝えるための内容について、今までの学習や友達の意見を参考に根拠をもって選んでいる。	③	A	作成したポスターを振り返り、自分と地域とのつながりを自分事として捉え、さらにできることを意欲的に考えている。 大竹の伝統を受け継いでいくことを紙太鼓の演奏を通して地域に発信し、未来の大竹のために自分にできる目標を立てている。
	B	「大竹の伝統を大切にしたい」という気持ちが、なぜ高まったのか、その理由を考えている。		B	<b>おおたけ手すき和紙の魅力</b> を伝えるための内容について選んでいる。		B	作成したポスターを振り返り、自分と地域とのつながりについて気付き、さらにできることを考えている。 大竹の伝統を受け継いでいくことを紙太鼓の演奏を通して地域に発信している。
			④	A	おおたけ手すき和紙の魅力と自分の思いが見た人に伝わるよう工夫してポスター等を作成している。			
				B	おおたけ手すき和紙の魅力が見た人に伝わるよう工夫してポスター等を作成している。			

8 単元において育成しようとする資質能力とのかかわり

資質・能力	目指す児童像
思考力・判断力・表現力	課題解決に向けて必要な情報を収集・整理し、大竹の伝統を継承するために自分にできることを考え、実践することができる。
主体性	大竹の伝統を守り、受け継いできた人々の思いを知ることを通して、自己と地域の人々のつながりに気付き、大竹のまちづくりの一員である自覚をもって、自己の生き方を考えることができる。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

県外の人におおたけ手すき和紙の魅力を伝えるために、必要な内容を精選することができる。

(2) 準備物

タブレット、モニター、短冊、マジック、ワークシート（ピラミッドチャート）、リフレクションシート

(3) 展開

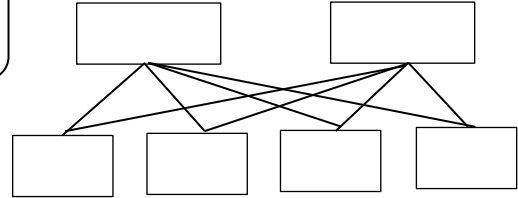
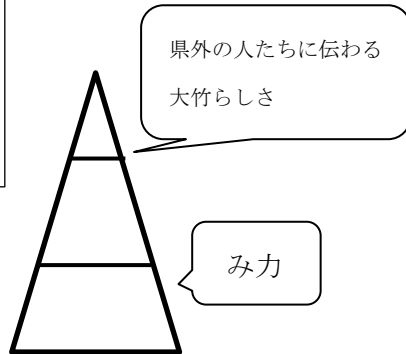
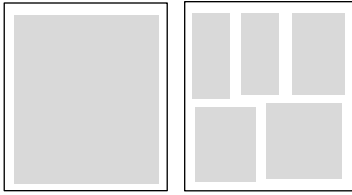
時間	学習内容・学習活動	指導上の留意事項	【観点】評価規準（方法）
	T：主な発問・指示 C：予想される児童の反応	○指導上の留意事項 ▲支援を要する児童への手立て	
見 通 し を 持 つ	1. 前時の振り返りを紹介する。 C：紙太鼓の伝統をこれからも受け継いでいきたい。 C：もっとおおたけ和紙のみ力を多くの人に知ってもらいたい。  2. 本時のめあてを確認する。	○ 相手（県外の人たち）や目的（大竹の魅力を伝える）を明確にする。 ▲ 修学旅行先のホテルの支配人の方から頂いたビデオレターを見せることで活動の意義を実感させ意欲につなげる。	
	県外の人たちに、おおたけ手すき和紙のみ力が伝わる内容を選ぶことができる。		
自 分 の 考 え を も つ	ループリック（思判表③） 児童との評価共有 A：（+）学んできたことや友達の見解を参考に、理由付けている。 B：ポスターの内容を選ぶ。	○ ホテルに掲示できるポスターはA3用紙2枚であることを伝え、本時のめあてにつなげる。  ○ 「み力」「県外の人たちに伝わる大竹らしさ」という視点を確認する。 ○ ピラミッドチャートを活用し、精選する。	【思・判・表】 ○ 友達との意見交流を通して、おおたけ手すき和紙の魅力を伝えるために必要な内容について考え精選している。
	3. おおたけ手すき和紙の魅力が伝わるポスターにするために必要な内容をチームで話し合い、精選する。 T：みんなが考えるおおたけ手すき		

<p>考 え を 交 流 す る</p>	<p>和紙のみ力は何だろう？ T：その中から県外の人にも伝わる み力は何だろう？</p> <p>4. 全体で交流する。 T：どうして大竹らしさとして選ん だの？ C：ぼくたちの班はおおたけ手すき 和紙で作ったこいのぼりを選び ました。わけは、手すき和紙で作 ったこいのぼりが大竹唯一のも のだからです。 C：ぼくたちの班は、紙太こを選び ました。理由は、大竹らしさが伝 わり、さらに自分たちで作った伝 統を受けついできたものが紙太 こだからです。</p> <p>5. 振り返りをする。 T：おおたけ手すき和紙のみ力が伝 わる内容を選べましたか？ C：大竹らしさが伝わる内容を選べ ました。 C：このポスターをきっかけに大竹 のことを知ってもらえそうです。 C：友達の意見を聞いて、紙太こは 大竹唯一のみ力であり、それを使 って演奏したからこそ伝えられ るものがあると思いました。 C：おおたけ手すき和紙のみ力を世 界中の人々に伝えていきたいで す。そして将来、ふるさと大竹に もどって、伝統を伝える活動に参 加してみたいです。</p>	<p>○ タブレットを活用すること で、ピラミッドチャートの内 容を瞬時に全体で共有し合う ようにする。</p> <p>○ それぞれのチームで考えた 最も大竹らしい魅力を発表さ せ、内容を精選できるように する。</p> <p>○ リフレクションシートへの 記入時には、おおたけ手すき 和紙の魅力や、友達の意見を 聞いてさらに気付いたこと について振り返るようにする。</p>	<p>振り返りの評価【思・判・表】 A：おおたけ手すき和紙の 魅力を伝えるための内 容について、今までの学 習や友達の意見などを 参考にしながら、根拠を もって選んでいる。 B：おおたけ手すき和紙の 魅力を伝えるための内 容を選んでいる。 (発言・ワークシート・リ フレクションシート)</p>
<p>振 り 返 る</p>			

(4) 板書計画

⑥ 県外の人たちに、おおたけ手すき和紙のみ力が伝わる内容を選ぶことができる。

A (+) 学んできたことや友達の見解を参考に、理由付けている。  
B ポスターの内容を選ぶ。





班

県外の人たちに伝わる

大竹らしさ

みか

おおたけ手すき和紙とは

班

大竹の伝統と心を伝えよう！

組 番 名前 ( )

1 おおたけ手すき和紙の み力を 3つ 選びましょう。

内 容	理 由

2 おおたけ手すき和紙の み力が 伝わる 内容を 1つ 選びましょう。

内 容	理 由